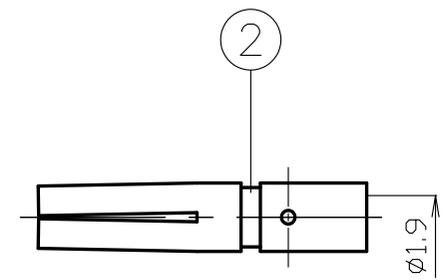
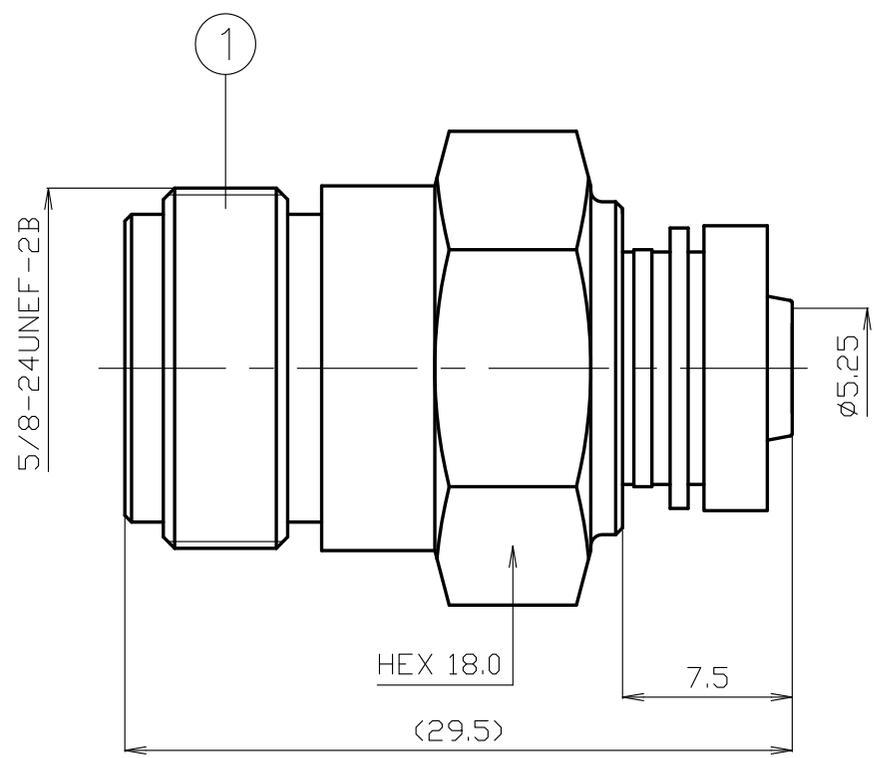


番号	変更・記事	日付	確認
△1	社名変更	2012.01.05	(印)
△2			
△3			
△4			
△5			



RoHS Compliant Cd ≤75ppm
 REMARKS BRASS: Cd ≤75ppm
 PHOSPHOR BRONZE: Pb <4wt%

7						尺度	3/1
6							
5							
4							
3							
2	中心コンタクト	リン青銅	1	Au		単位	mm
1	本体	黄銅	1	Ni		日付	2002.08.10
番号	部 品 名	材 質	数 量	処 理	備 考		

製 図	検 図	承 認	確 認
山 '12.01.05 口	檜 '12.01.05 澤	山 '12.01.05 本	中村 '12.01.05 義

投影法

株式会社 トーコネ
TO-CONN CO., LTD.

品 名	NJ-5FBW
図 番	S-0511776

仕 様 書

品 名 NJ-5FBW
 図 番 S-0511776
 定 格 1 参考規格 JIS C 5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 公称インピーダンス 50Ω
 4 周波数範囲 6GHz
 5 使用温度範囲 -20℃～+80℃
 6 使用相対湿度 85%RH以下

No. 0520585



株式会社 **トーコネ**
 TO-CONN CO., LTD.

項 目		条 件	規 格
1 2 3	構造及び形状寸法	添付図に示す	異常のないこと
	材 質	(図番 : S-0511776)	
	仕上げ及び表示		
4	絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1kHzの交流 又は直流で1mVを超えない方法にて	3mΩ以下
7	電圧定在波比	DC～2GHz (5D-FB-LITE) 2GHz～6GHz (5D-FB-LITE) DC～6GHz (5D-FB)	1.2以下 1.3以下 1.3以下
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	雌コンタクトの保持力	規格ピンゲージ 1.0N以上	異常のないこと
10	ケーブル接続強度	軸方向引張力 196N以上	異常のないこと
11	結合部接続強度	軸方向引張力 300Nを加えたとき	ネジ部に 異常のないこと
12	繰り返し動作	5000回の抜き差し後 (試験速度 : 毎分10回以下)	接触抵抗は10mΩ以下
13	防水性	ケーブルに取付したコネクタを水に浸し 空気圧(19.6kPa)を20秒間加える	漏れによる気泡が ないこと
		絶縁抵抗	番号4の性能を満足する事
14	温度サイクル	JIS C 5402 7.2.1による。 コネクタは非結合の状態で行う。 a) 低温側の温度 -20℃±2℃ b) 高温側の温度 +80℃±2℃ c) 移し換え時間 2分間から5分間 d) サイクル数 5サイクル e) 放置時間 30分間	絶縁抵抗:1000MΩ以下 耐電圧:せん絡及び絶縁破壊 がないこと 外観構造:ひび、割れ、変形 などの異常がないこと
15	耐食性	耐電圧:1000V(実効値)を加えた時異常がないこと	7.4.5に基づき試験を 行った後、測定する
		接触抵抗:50mΩ以下	

変更履歴		日付
1	書式変更 / 結合部接続強度追記 / 電圧定在波比 ケーブル毎に更新	2021.03.22
2		
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
 三村 21.03.22	 山本 21.03.22	 水野 21.03.22	 栗原 21.03.22

NJ-5FBW 取付仕様書 (TA-24S 圧着工具)

適合ケーブル 5D-FB、5D-FB-LITE

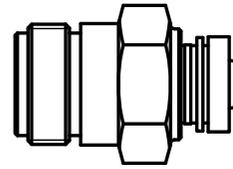
専用圧着工具
TA-24S

図番 S-0511776

製図	検図	承認	確認
栗原	檜澤	山本	三村
'21.03.18	'21.03.18	'21.03.18	'21.03.18



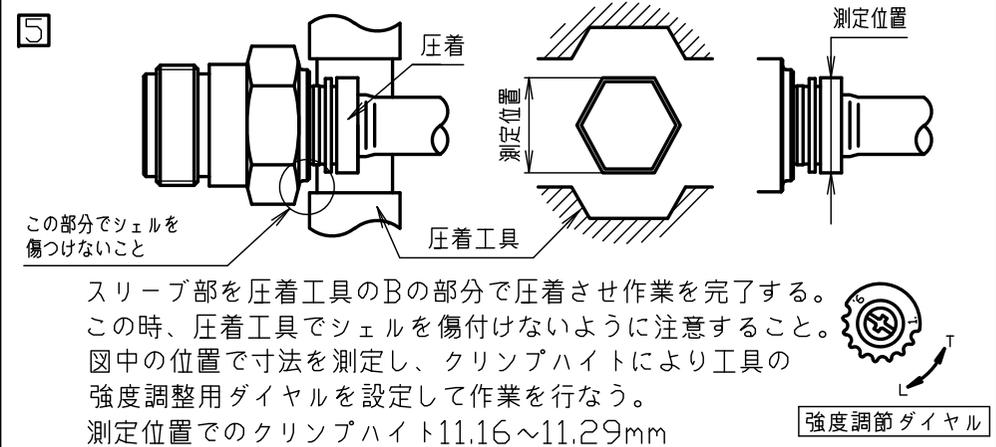
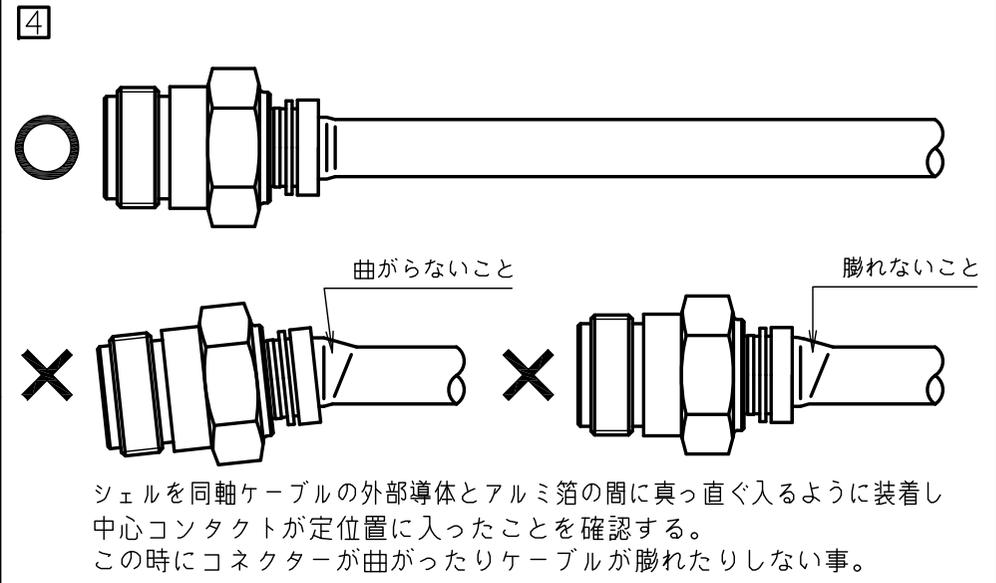
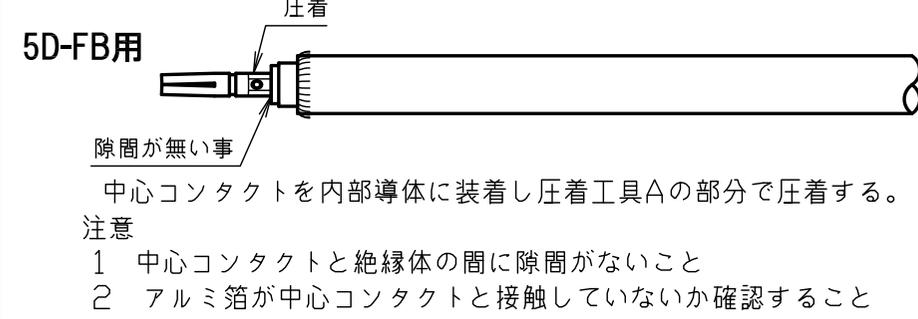
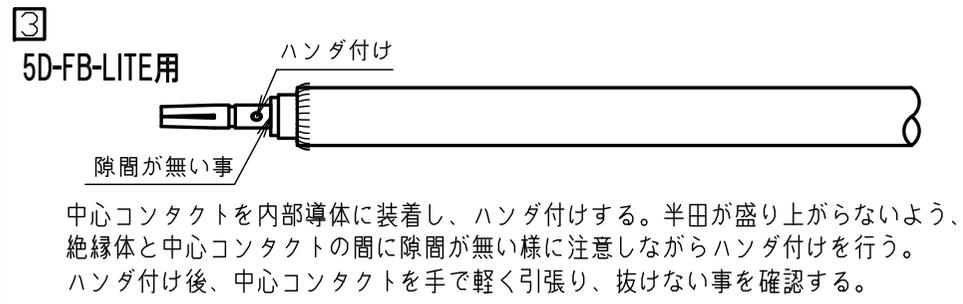
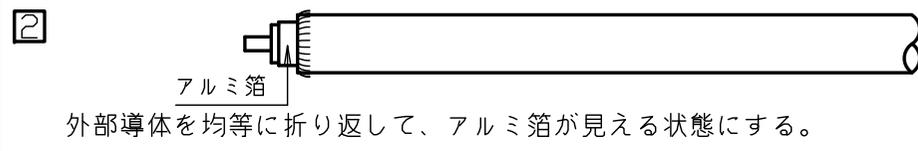
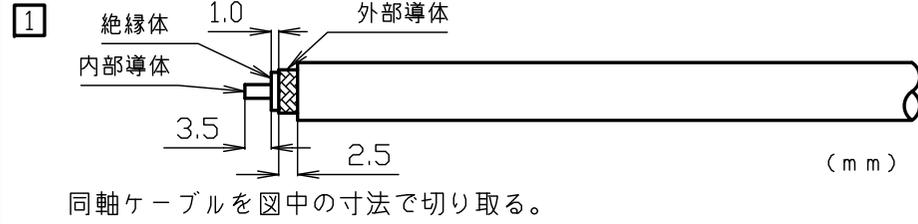
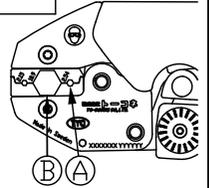
部品構成



シェル



中心コンタクト



◆TA-24Sをご使用の場合は、別紙「TA-12S/24S圧着工具 ご使用上の注意」を必ずお読みください。

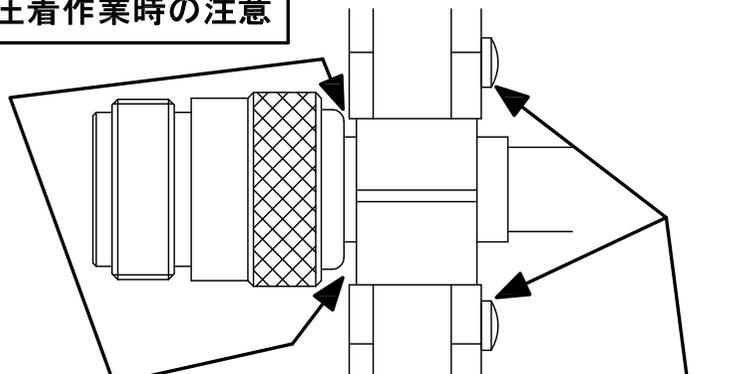
TA-12S/24S圧着工具 ご使用上の注意



作成	確認
栗原	山本
'21,02,09	'21,02,09

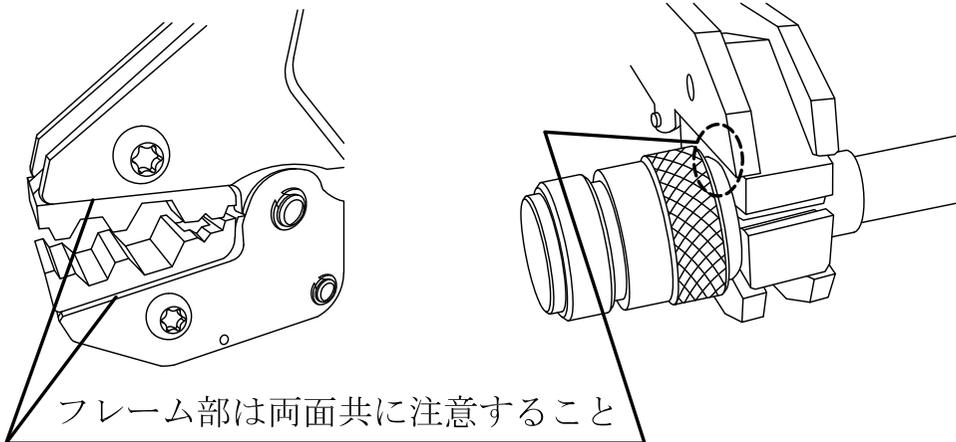
◆該当圧着工具をご使用の際は、下記に注意してご使用ください。
コネクタの形状により、圧着工具の部位が接触しコネクタにキズがつく場合があります。

圧着作業時の注意



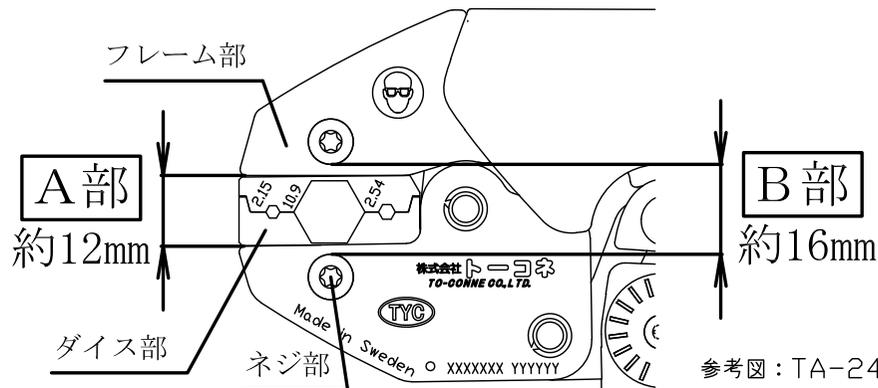
① フレーム部に当たらないように
ダイスとの隙間に注意 **※注1**

② ネジ部に当たらないように注意



フレーム部は両面共に注意すること

A部 ダイス幅よりもフレーム部の幅が大きく、コネクタの圧着部付近が下記寸法よりも大きいコネクタは接触しないよう注意が必要です。



B部 圧着部付近が16mmを超えるコネクタは圧着工具のネジ部が当たらないように、向きを変えて作業してください。

※注1

仕上がり状態で、下記範囲が1.5mm以下になるように作業をおこなってください。

